

# V トピックス

## 第51回日本人工関節学会報告

文責／松原正明

### 新型コロナウイルス感染蔓延下での 人工関節学会を主催して

当院では、2008年に当院の中嶋先生(現理事長)が第6回日本ヘルニア研究会を、2016年に気胸センターの栗原先生(現医学研究所長)が第20回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会を主宰されたのに続き、2021年4月に竣工した横浜パシフィコ・ノースにて、2021年7月7日(水)～8日(木)に第51回日本人工関節学会を整形外科として主催させていただきました。本来であれば、3月18日(金)～19日(土)に開催の予定だったが、2021年に入り新型コロナウイルス感染症蔓延のため首都圏では2月8日から緊急事態宣言下となり、予定していた3月18日になってもこの宣言が解けず、当初予定していた現地開催を延期せざるをなくなり、急遽1月28日の理事会で学会期日の変更を了承していただき、時期を延期しての開催となった。その結果、無事7月7日～8日に会を開催したが、その後7月12日から首都圏に再度緊急事態宣言が発出されたことを顧みると、ぎりぎりの隙間を縫って会を開催できたことに、なんと運がよかったのだろうと今更ながらに思っている。

学会では様々なシンポジウムを企画したが、近年導入が進むロボット・コンピュータ支援のセッションで、佐藤敦子先生から設置精度の高いロボット支援手術と前方系進入法でこれからの道筋についての講演をしていただき、人生100年時代におけるTHAの長期成績については木村先生に人工関節の経年変化の予測の研究結果について話していただいた。また、奥田先生、加瀬先生、平澤

先生にもパネルディスカッションにご登壇いただき、活発な討議を繰り広げていただいた。

2020年末の人工関節学会理事会では、完全web開催で予定通りの期間で学会をすべきという意見もかなりいただいたが、この新型コロナウイルス感染蔓延下で新しい形での学会開催を模索しているのでは何とか時間をいただきたく延期したいとお願いし、今回の会期延長をお許しいただき開催した。

“新型コロナウイルス感染蔓延下での新しい形の学会開催形態の模索”をすることで、学会開催延期が認められたが、はたしてどのような形態がこの時節に最もふさわしい会の形態であるのかについては、2月から4月の間は毎日悩んだ末、出した最終結論はハイブリッド開催であった。この結果、学会には首都圏を中心に1,798名の先生に会場いただき、13会場、1,062演題について数多くの活発な議論が展開された。十分ではなかったとはいえ学会の本来の趣旨である人と人が実際に会ってディスカッションができたことはとても有益なことであったと感じている。

今回、学会を主催させていただき強く感じたことは、ハイブリッドで開催する学会は通常開催と比べ多額の費用が必要であるということだ。また3年前の準備段階から当院連携室の小野崎さんを筆頭に数多くの事務スタッフのご協力をいただき、また当日の学会運営や研究発表における理学療法士の先生方のご協力無しでは、ここまでプログラムをまとめ、会の成功を収めることはできなかったものと痛感している。



事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

## 予定より遅れた病院機能評価受審

文責／井上博満

玉川病院では病院機能評価受審を2005年度に初めて受審し、2020年度に4回目(3rdG: Ver2.0)の更新予定であった。受審に向け、総合的質管理委員会内で、病院機能評価受審プロジェクトチームを編成し、2015年度に実施した審査結果報告書を1項目毎に見直しをしたのち、各部署での担当者を決定し、審査内容に基づいた確認作業を進めると同時に、マニュアル等の改訂等を行った。しかし、COVID-19の感染拡大に伴い作業は幾度となく中断することもあり、また受審日も確定しない状況であったが、その分、準備に時間を要するができ、特に部門訪問に備えたシミュレーションを繰り返し実施できた。1年遅れで迎えた2021年6月8日～9日の2日間受審時には準備万端な状態で臨むことができた。しかし、実際に審査が始まると、書類や記録の不備もあり指摘事項もいくつかあり、各部署訪問時にはサーベイヤーからの鋭い質問により、あたふたする場面が多く見られた。また、受審

終了時の講評では、全部署での目標管理の実施、組織的に様々なデータを用いた病院改善への取り組み、各規程や全体で実施する研修などを統括・管理する組織の設置が必要であるとの指摘はあったが、全体的に当院として患者のための取り組みがされていると評価されたことは、委員の一人としてひとまず無事に審査を終えることができたことと安堵した。今回の受審により、現在の玉川病院における課題が明確となり客観的把握ができたことは、今後の玉川病院の医療の質向上につながるものと感じた。次回受審は5年後と思ったのも束の間、1年遅れの受審であったが、予定していた2020年度から遡った認定期間となることから、次回受審は4年後の2025年度となる。今回の審査結果報告書から指摘された事項への取り組みを進めるのはもちろんのこと、常にマニュアル等の見直しを職員一丸となって実施し、次回受審時には堂々と「準備万端」で臨みたい。

## 災害時における給電車両貸与に関する協定

文責／佐々木栄三

公益財団法人日産厚生会玉川病院(当院)とトヨタモビリティ東京株式会社(T・M・T)は2021年12月15日に「災害時における給電車両貸与に関する協定」を締結した。

当協定は、大規模災害時の電力不足に対し、給電車両貸与による医療・災害対応業務における電力確保を目的としている。大規模な停電が発生もしくはその可能性がある場合に、最寄りの瀬田店にある試乗車・社用車の給電機能付き車両1台を当院に無償で貸与して頂ける。

T・M・T社は2019年の台風災害時(関東地方の広い範囲で停電が発生。都内の停電は短時間で復旧したが、隣県である千葉県では倒木等による送配電設備の被害が大きく、復旧に時間を要した)には、東京電力の復旧活動に用いる特殊車両の活動拠点として営業所駐車場の提供や給電車両3台の貸与など、迅速な電力復旧等に協力を惜まず、平時は地域の防災訓練や地域のイベントに協力している。

今回は給電車両貸与の形で公立の施設や大学付属病院



と締結していた協定を、災害時地域医療の基幹となる当院と、民間病院としては初めての締結となった。

### 【給電車両貸与の手順】

電力不足が懸念される事案が発生→トヨタモビリティ東京株式会社瀬田店へ連絡(TEL・FAX)→瀬田店より早急に配車(通信が普通の場合は直接来店)

### ◆協定概要

名称	災害時における給電車両貸与に関する協定
目的	大規模災害時に、給電車両を貸与してもらい、医療・災害対策業務における電力確保に役立てる。
対象	公益財団法人日産厚生会 玉川病院
内容	瀬田店より、災害時に電力確保や患者移動等のために給電車両1台貸与。

【電力供給量目安（列記のいずれかが可能）】

- ・約4,000台のスマホが充電可能
  - ・一般家庭4~5日分の電力供給
  - ・LED電球10個が580時間点灯可能
- ※照明やスマホ・家電等の電力使用。また、傷病者等の搬送としても使用可。



事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

## 看護部イベント



▲コロナ病棟



▲感染対策委員会



▲看護・リハ研究発表



▲新人集合研修1



▲新人集合研修2



▲特定行為研修修了式

## 玉川病院コンサート

文責／栗原正利

コロナ感染の影響により院内に聴衆を呼び入れることができない状況が続いて2年になる。こうしたパンデミックで世の中が閉塞感に満ちている時こそ音楽が必要な時である。面会者の訪問規制が解除にならない限り、玉川病院コンサートも再開することはないであろう。世間ではコンサートやイベントが開かれ始めているが、病院という立场上再開するのは最後になると予想される。出

演して下さった音楽家たちも再開を望んでいる。このままコンサートが開けないままでは、彼らとのつながりも切れてしまう。定期的に彼らと連絡をとり、再開された時には出演して下さるようお願いしている。

2022年の再開は無理であろうが、2023年は玉川病院コンサート再開を望んでいる。準備だけはしておきたい。

## 地域活動

### ■ 東京都理学療法士協会協会世田谷支部

活動部署：リハビリテーション科  
開催日：月1回定期開催  
内容：運営会議、研修会企画  
場所：WEB開催

### ■ 第4回たまがわ薬薬連携の会 (共催：はなみずき薬局)

活動部署：薬剤科  
開催日：2021.4.20  
内容：ベンゾジアゼピン系薬剤長期服用患者の薬学的管理について  
場所：オンライン開催

### ■ 世田谷高次脳機能障害リーフレット作成 ワーキンググループ

活動部署：リハビリテーションセンター  
開催日：2021.5.14、8.27、12.8、2022.2.28  
内容：世田谷区高次脳機能障害リーフレット作成  
場所：世田谷区福祉人材育成・研修センター・WEB開催

### ■ 第1回玉川病院医療連携WEBセミナー

活動部署：泌尿器科、地域連携支援室  
開催日：2021.5.27  
内容：「前立腺肥大症の治療」～低侵襲手術とその適応～  
泌尿器科副部長 田中将樹  
場所：ZOOM配信

### ■ 世田谷区高次脳機能障害施設連絡会

活動部署：リハビリテーションセンター  
開催日：2021.6.9、9.10、2022.2.4  
内容：連絡会議・情報交換  
場所：世田谷区福祉人材育成・研修センター・書面開催

### ■ 第5回たまがわ薬薬連携の会 (共催：佐々浪薬局)

活動部署：薬剤科  
開催日：2021.6.15  
内容：薬局で対応に苦慮した症例の検討  
場所：オンライン開催

### ■ 世田谷区OT連絡会

活動部署：リハビリテーション科  
開催日：2021.6.18、9.9、10.22、2022.2.18  
内容：連絡会議・情報交換  
場所：世田谷区福祉人材育成・研修センター・WEB開催

### ■ 区西南部高次脳機能障害者支援センター 講演会・症例検討会

活動部署：リハビリテーションセンター  
開催日：2020.6.30、7.13、9.15、12.14、2021.2.2  
内容：圏域会議・講演会・症例検討会  
場所：WEB開催

### ■ 第6回たまがわ薬薬連携の会 (共催：にこたま薬局)

活動部署：薬剤科  
開催日：2021.8.17  
内容：気象病の症例について  
場所：オンライン開催

### ■ 目黒いきいき福祉ネットワーク 症例検討会

活動部署：リハビリテーション科  
開催日：2021.8.19、2022.2.17  
内容：症例検討会  
場所：WEB開催

## ■ 第2回玉川病院医療連携WEBセミナー

活動部署：脳神経内科、地域連携支援室  
開催日：2021.8.25  
内容：COVID-19関連脳卒中最近の知見  
脳神経内科部長 齋藤和幸  
場所：ZOOM配信

## ■ 2021年世田谷区民講座

活動部署：看護部ACPワーキンググループ  
開催日：2021.9.16  
内容：「LIFEこれからのことについて考えてみませんか」  
場所：用賀あんしんすこやかセンターへ当院から  
ZOOM配信

## ■ 区西南部リハビリテーション支援センター 幹事会

活動部署：リハビリテーションセンター  
開催日：2021.9.24、2022.1.28、3.30  
内容：世田谷のリハ普及についての議論  
場所：WEB開催

## ■ 第7回たまがわ薬業連携の会 (共催：楽天薬局)

活動部署：薬剤科  
開催日：2021.10.19  
内容：楽天薬局のオンライン化への取り組みについて  
場所：オンライン開催

## ■ 2021年第2回用賀カフェ (地域の訪問看護師やケアマネなど参加する 研修会)

活動部署：看護部ACPワーキンググループ  
開催日：2021.12.9  
内容：「LIFEこれからのこと」～事例を通して～  
それぞれの立場でACPについて考えよう。  
(グループワーク)  
場所：用賀あんしんすこやかセンターなどへ  
ZOOM配信

## ■ 第8回たまがわ薬業連携の会 (共催：田辺薬局)

活動部署：薬剤科  
開催日：2021.12.21  
内容：地域連携薬局について  
場所：オンライン開催

## ■ 第6回 玉川地域包括医療研究会

活動部署：医療福祉相談室、地域連携支援室  
開催日：2022.1.26  
内容：『身寄りがない患者の対応について  
～地域の多職種で考える～』  
在宅医療・介護の課題を考える ～多職種 それ  
ぞれの立場から考える課題の共有～  
(グループワーク)  
場所：オンライン開催

## ■ 第9回たまがわ薬業連携の会 (共催：わこう薬局)

活動部署：薬剤科  
開催日：2022.2.15  
内容：診療報酬改定について  
場所：オンライン開催

## ■ 第3回玉川病院医療連携WEBセミナー

活動部署：脳神経外科、地域連携支援室  
開催日：2022.2.17  
内容：「脳卒中治療ガイドライン2021」  
～改定のポイントと地域医療でできる事～  
脳神経外科部長 原科純一  
場所：ZOOM配信

## ■ 世田谷区ST連絡会

活動部署：リハビリテーション科  
開催日：2022.2.25  
内容：連絡会議・情報交換  
場所：WEB開催

## ■ 第4回玉川病院医療連携WEBセミナー

活動部署：糖尿病・代謝内科、地域連携支援室  
開催日：2022.3.3  
内容：「糖尿病と腸内細菌」  
糖尿病・代謝内科副部長 竹内崇人  
場所：ZOOM配信

## ■ 第15回腎臓病教室

活動部署：透析センター・腎臓内科、看護部、  
リハビリテーション科、臨床工学科、  
薬剤科、栄養給食科  
活動目的：地域の患者や家族に対する新たな国民病であるCKDの啓発  
方法：Web講座として玉川病院ホームページ→診療科  
一覧→腎臓内科から配信

内容：1.慢性腎臓病(CKD)とは？ 腎臓の働き、治療について

診療部 腎臓内科部長 今村吉彦

2.腎臓病といわれたら・・・日常生活について気をつけたい5つのポイント

看護部 看護師 宇野真生子

3.薬についてよく知ろう！～薬の特徴と注意点～

薬剤科 薬剤師 山本伊純

4.慢性腎臓病(CKD)の食事療法

栄養給食科 管理栄養士 篠原 真

5.腎臓病の運動療法

リハビリテーション科 理学療法士 廣瀬幸子

6.腎代替療法について

臨床工学科 臨床工学技士 高橋真理子